



埼玉県マスコット
「コバトン&さいたまっち」



令和2年産 大豆の作柄概況

(令和3年2月)
埼玉県農業技術研究センター

1 気象概況

(1) 気温

月平均気温は、平年よりも低かった7月以外は、平年並からかなり高く推移した。特に、8月の月平均気温は平年より2.8℃高く、熊谷地方気象台の観測史上最も高かった。

(2) 降水量

月合計は6、7、10月で平年よりも多く、8、9、11月は平年より少なかった。関東甲信の梅雨入りは6月11日頃で、平年より3日遅く、梅雨明けは8月1日頃と、平年より11日遅かった。
なお、本年は台風による大きな影響はなかった。

(3) 日照時間

月合計は、7、9、10月を除いて平年より多かった。特に、7月の月間日照時間は平年比34%と著しく寡照で、観測史上最も少なかった。

(4) 熊谷地方気象台の観測記録

		6月	7月	8月	9月	10月	11月
平均気温	本年	23.7	24.1	29.6	24.2	17.2	12.6
	平年	21.7	25.3	26.8	22.8	17	11.2
	平年差	2.0	-1.2	2.8	1.4	0.2	1.4
		かなり高い	低い	かなり高い	高い	平年並	高い
降水量	本年	259.0	226.5	63.0	163.0	166.0	4.5
	平年	145.4	161.6	192.6	208.3	146.1	59
	平年差	178%	140%	33%	78%	114%	8%
		かなり多い	多い	少ない	少ない	多い	かなり少ない
日照時間	本年	148.5	46.6	250.9	102.4	122.6	200.2
	平年	125.5	136.9	166.5	120.8	148.2	169.9
	平年差	118%	34%	151%	85%	83%	118%
		多い	かなり少ない	かなり多い	少ない	少ない	多い

*熊谷地方気象台「埼玉県の気象概況」より

2 耕種概要

- (1) 試験場所 埼玉県農業技術研究センター玉井試験場内水田（転換畑）
- (2) 供試品種 里のほほえみ
- (3) 播種期 6月26日
- (4) 播種様式 条播（条間70cm、株間9cm）
- (5) 施肥量 N:P:K=3:10:10kg/10a
- (6) その他 県栽培基準のとおり

3 「里のほほえみ」の当センター内の作柄

(1) 生育経過

播種時の土壌が過湿で、碎土も不十分であったため、出芽期は、平年に比べて2日遅く、生育は、出芽後7月下旬までの低温寡照により遅延した。また、その後は高温多照であったが、主莖長は平年を下回って推移し、主莖節数も少なかった。開花期は8月5日となり、開花までの日数は平年より1日長くなった。

開花期から10日間程度は高温で降雨もなく、乾燥による落蕾・落莢が懸念されたが、その後は定期的に降雨があり、乾燥害は回避された。そのため、総節数が平年に比べて少ないものの、全莢数は平年を上回り、一莢内粒数も多かった。

(2) 病虫害の発生

本年度は、8月1日まで梅雨が長引き、低温寡照、過湿で経過したことから、葉の裏面等にべと病の発生が見られた。また、害虫についてはハスモンヨトウ、シロイチモジマダラメイガなどのチョウ目害虫の発生が見られた。

(3) 収量

稔実莢数、一莢内粒数がともに多いため、百粒重は平年を下回ったものの、子実重は444kg/10aと平年より多収となった。

(4) 外観品質

理由は判然としないが、裂皮粒が平年より多く発生した。しかし、病虫害による被害粒は少なく、整粒歩合は平年より10.9ポイント高い65.5%となった。

4 県内全般の生育・作柄の特徴

(1) 生育経過

6、7月に曇雨天が続いたため、7月15日の作業進捗割合でわずか6%(平年66%)と進まず、7月29日でも17%と過去5年でもっとも遅かった昨年(同時期67%)よりさらに遅くなった。残りの播種作業は天候が回復した8月上旬に一気に進んだが一部で、中旬から下旬に至ったほ場もみられた。

8月に天候が回復したものの急激に高温乾燥となったため、乾燥によって出芽不良となったほ場もみられた。その後、天候が比較的良かったため生育は回復したが、播種が大幅に遅れた結果、全体的には生育量不足の傾向だった。

大豆刈り取りの作業進捗割合は11月25日で34%(過去5年平均63%)と非常に遅く、昨年(34%)並みだった。12月9日で78%(過去5年平均97%)、12月23日で98%と

記録のある平成 14 年以降では最も遅い結果となった(作業進捗割合は農業支援課調べ)。

(2) 病害虫の発生

昨年に続いてべと病の発生が多く認められた。害虫では吸実性カメムシ類の発生が多かった。

(3) 収量

播種遅れにより生育量が確保できなかったが、生育後半の天候が比較的良かったことから、玉井試験場では昨年より収量が多かった。しかし、県内全般では 100kg/10a 程度で不良とみられる。

(4) 外観品質

1 月末時点の埼玉県大豆検査結果は、普通大豆 2 等 28%、3 等 69%、特定加工用大豆 合格 100%となっている。

5 具体的データ

表1 生育経過

	本年	平年	平年差
播種期	6月26日	6月25日	1
出芽期	7月1日	6月29日	2
出芽まで日数	5	4	1
開花期	8月5日	8月3日	2
開花まで日数	40	39	1
成熟期	11月4日	10月31日	4
結実日数	91	89	2

平年値はH28～R1の4か年の値。以下同様。

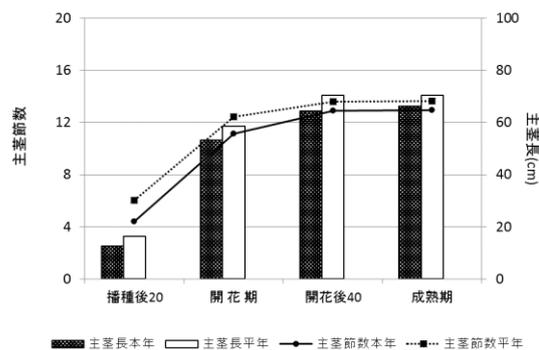


図1 主茎長、主茎節数の推移

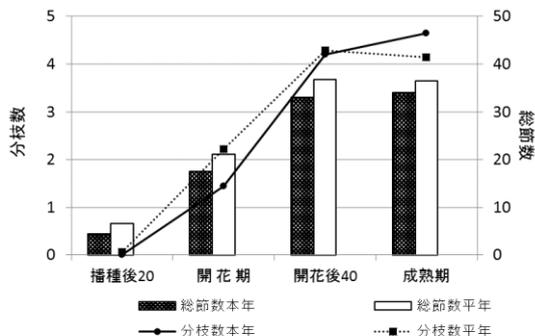


図2 総節数、分枝数の推移

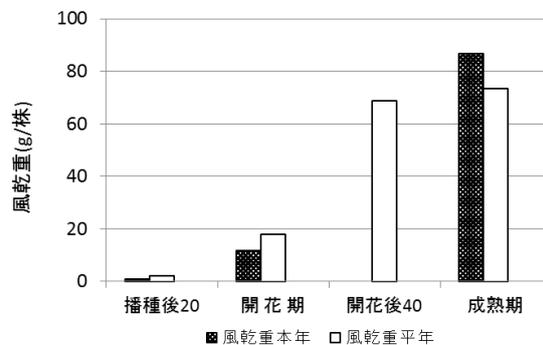


図3 風乾重の推移

注)開花後40日は欠測

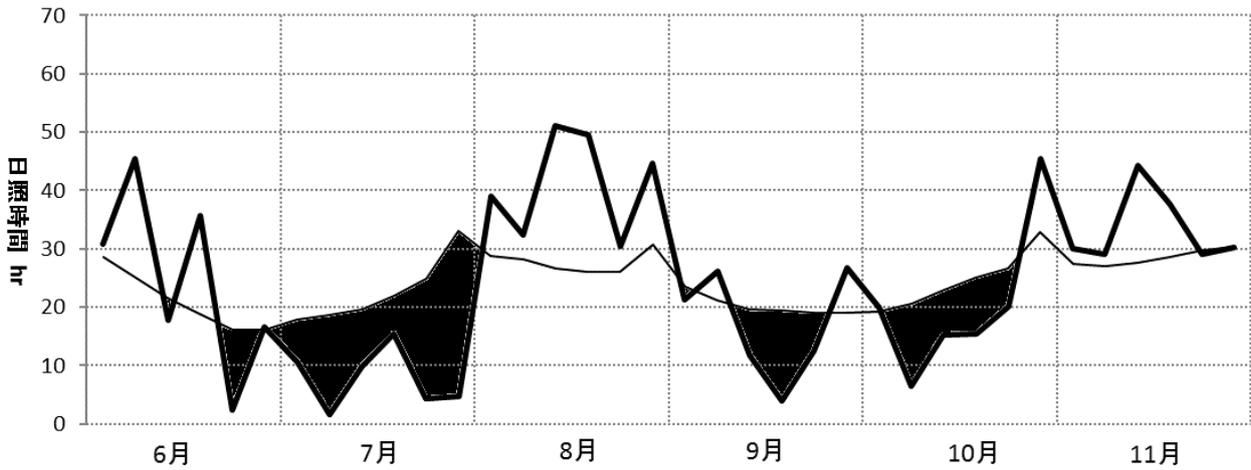
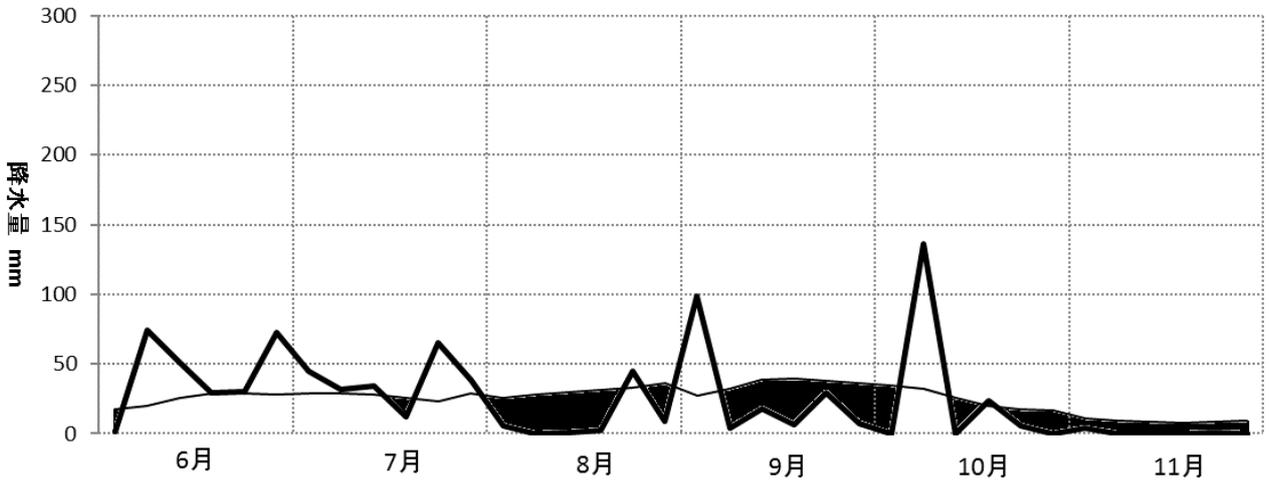
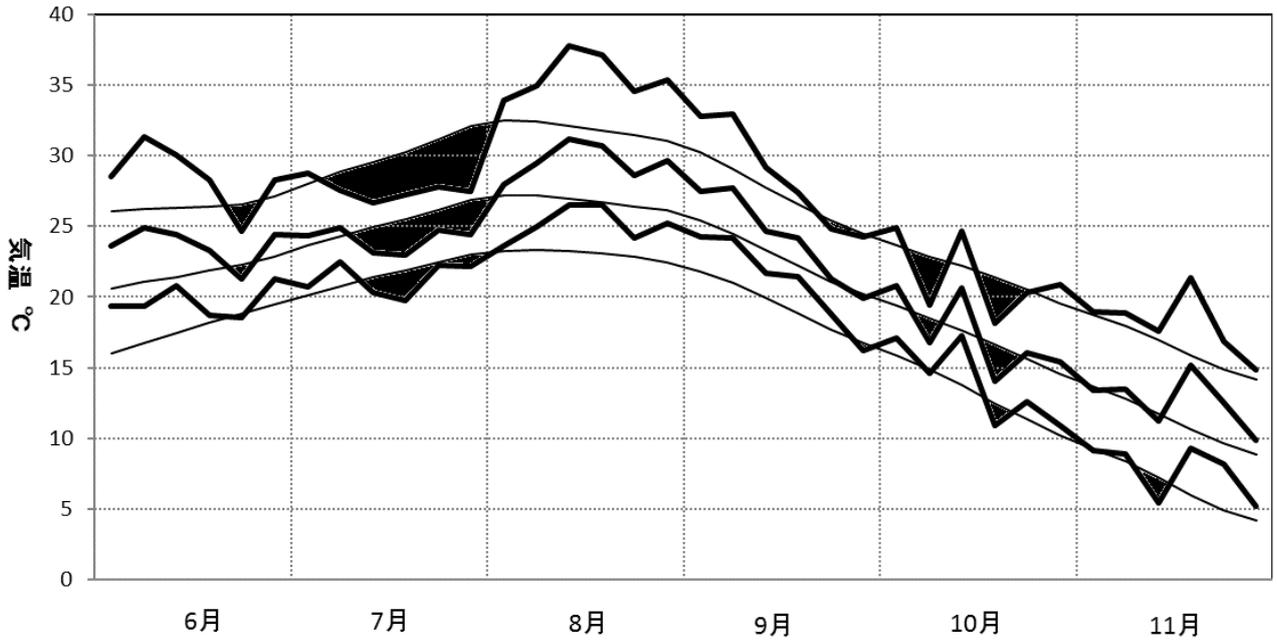
表2 成熟期調査結果及び収量

	本年	平年	平年比(%)
主茎長(cm)	66.1	70.3	94%
主茎径(mm)	9.8	10.2	96%
主茎節数(節)	13.0	13.7	95%
総節数(節)	34.0	36.4	93%
分枝数(本/株)	4.7	4.1	112%
全莢数(莢/株)	64.0	51.2	125%
稔実莢数(莢/株)	60.4	44.0	137%
一莢内粒数(粒/株)	2.07	1.74	119%
子実重(kg/10a)	444	352	126%
百粒重(g)	38.9	43.4	90%

表3 外観品質

項目	本年(%)	平年(%)	平年差
整粒	65.5	54.6	10.9
未熟粒	0.9	0.9	0.0
しわ粒	2.8	2.9	-0.1
裂皮粒	22.6	13.8	8.7
カラムシ害	5.5	7.2	-1.7
虫害	1.0	4.1	-3.1
腐敗粒	0.7	10.1	-9.4
紫斑粒	0.0	0.5	-0.5
褐斑粒	0.0	2.1	-2.1
その他	1.1	3.5	-2.4

注)その他にはべと病、斑点病などを含む



令和2年夏作期間気象図

(熊谷気象台日別測定値から作成)